

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 芦屋はまゆう

作成日: 平成 30 年 1 月 7 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	42	食事を楽しむことのできる支援	食事は法人内厨房で作って提供しているが、グループホーム単独の検食会議を立ち上げ、厨房に「美味しい、まずい、堅い」等の現場の声を伝え、厨房と一緒に美味しい食事の提供が出来る環境を整えていく。	食事は利用者の一番の楽しみであるので、利用者と一緒にテーブルを囲み、談笑しながら食事が楽しめるゆとりの時間を設け、週に1回程度、利用者と職員と一緒に料理を作り、作って食べる楽しいひと時を過ごせる取り組みを目指していく。	12ヶ月
2	15	職員を育てる取り組み	職員一人ひとりの介護技術に差があるので、外部や内部の研修会に職員を交代で派遣してスキルアップを図り、利用者や家族の安心に繋げていく。	年2回、管理者と職員が面談し、職員一人ひとりの目標が達成できたかを話し合い、目標達成に向けた取り組みを職員全員が自覚し、認知症高齢者が安心して暮らせるグループホームを目指していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。